

# 人間学会 ニュースレター

上智人間学会

2014年3月10日発行

1. 第42回大会のご案内
2. 研究発表・紀要原稿の募集について
3. 第41回大会報告記
4. ホームページについてのお知らせ
5. 役員会・事務局からのお知らせ

## 1. 第42回大会のご案内

次回大会につきまして、役員会で協議しました結果、下記の要領で開催することに決定しましたので、ご案内申し上げます。

期日：2014年8月29日（金）・30日（土）

場所：上智大学（東京都千代田区）

テーマ：共生社会を問い直す

人類の長い歴史は、決してただ権力者や一握りの英雄たちのものではありません。むしろその背後に忘れられた無名の民衆の一人一人が手を取り、支え合って生きた「かかわり」の輪こそが、人間という物語を紡いできたのではないのでしょうか。

戦後民主主義の時代の中で、私たちは社会的に弱い立場に置かれた人々の多様な在り方を認め、共に支え合うことのできる「共生」の道を少しずつ深めてきました。しかし同時に、グローバル化する市場経済の波にのまれるように、地域や家族といった共同体の結びつきは解体され、生活の困難を抱える様々な当事者たちが絆を失って孤立し、ケアの手が届きにくくなっている現状があります。

貧困や差別、暴力が見えにくい形で進行している現代の社会を見つめながら、国家や権威のためではなく、真に「他者のために」手を差し伸べあう「共生」への道筋を、皆様とともに考えたいと思います。

## 2. 研究発表・紀要原稿の募集について

### ☆第42回大会研究発表の募集

上記の大会テーマを共通課題として、研究発表を募集いたします。(質疑をのぞき25分程度)  
なお、研究発表は他に発表したことのないもので、人間学に関係した内容に限ります。

### ☆『人間学紀要』第44号論文の募集

2014年度紀要(2015年1月31日発行予定)の原稿を、下記の規定に基づき募集します。  
なお、編集委員会にて審査の上、

- 1) 応募状況をもとに「原稿受理の可否」を決定します。(5月末に本人に通知予定)
- 2) 受理した原稿を審査の上、「掲載の可否」を決定します。
- 3) 応募者多数の場合、大会発表に基づく論文の応募を優先的に受理いたします。

#### 【投稿規定】

- ・本学会会員に限る。
- ・他に発表したことのないもので、人間学と関わりのある新原稿であること。
- ・枚数は、論文は400字詰原稿用紙で40枚以内、研究ノートは同20枚以内(いずれも脚注を含む)相当とする。
- ・原稿は原則としてワープロ作成(A4版・40字×30行)とし、原稿提出の際、機種、執筆者を明記のCD-ROMまたはフロッピーディスク等も同封すること。
- ・図表等は必要最小限とし、そのまま印刷可能な状態のものを用意すること。
- ・原稿は所定の期日までに「上智人間学会事務局」宛に3部郵送すること。
- ・原稿には日本語表記に加えて、英文のタイトルおよび執筆者氏名を標記すること。
- ・原稿冒頭に掲載するため、400字以内の要約を添付すること。

### ☆応募要領

#### 【応募締切】

大会研究発表、紀要論文ともに、所定の申込用紙に記入の上、  
**2014年4月30日(水)必着**で事務局へお送りください。

#### 【応募に対する回答通知】

発表、紀要とも、2013年5月末に、応募に対する回答通知を文書で本人宛に送付します。

#### 【原稿締切】

大会研究発表の発表概要の提出期限は2014年8月18日(月)

A4版で3~5枚、原則としてワープロ作成

紀要論文の原稿の提出期限は2014年10月1日(水)

#### 【送付・連絡先】

「上智人間学会事務局」 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 7号館1219号室  
上智大学神学部(キリスト教人間学)事務室内

TEL 03-3238-3529 FAX 03-3238-3945 E-mail:theolo-2@sophia.ac.jp

### 3. 第 41 回大会報告記

去る 2013 年 8 月 28 日、29 日の両日第 41 回人間学会大会が、北海道・登別万世閣にて開催されました。北海道での開催は 2007 年以来 4 回目となりますが、札幌以外で行うのは初めて、また久々に温泉地での開催とあって、和やかな雰囲気の中、大会テーマ「人間教育—その原点と可能性」に基づいて活発な討議が行われました。

基調講演は、札幌聖心女子学院校長の Sr. 田口保子先生に『教育にはなぜ希望があるか』と題してお話いただきました。登別ゆかりのアイヌ女性、知里幸恵のことや、旭川の「君の椅子」プロジェクトなど北海道にまつわる話題を取り上げて下さり、魂の奥底の「声」に応えていく真摯な対話としての教育の可能性について、多くの示唆を頂くことができました。ご講演の内容は『紀要』にご寄稿いただきましたので、どうぞご覧下さい。

今回は大会テーマに基づいたシンポジウムを開催し、木村晶子先生（藤女子大学）、瀬本正之先生（上智大学）、堀井泰明先生（天使大学）に、それぞれの現場での「人間教育」についてのご経験と課題、方法論などをご紹介いただきました。カトリック大学においても、その宗教的な基礎教育をめぐる環境が年々狭められていく現状の中、いかに「ひとりひとり」に寄り添いながらその成長を助け導いてゆくことができるのかを、ともに見つめる時間となりました。

また、研究発表は五名の会員により行われ、一日目には思想史的な視点からの発表（桑原光一郎氏、高橋勝幸氏）、二日目には社会的、文化的な視点からの発表（吉川まみ氏、久保文彦氏、佐々木隆氏）と、それぞれに興味深い内容に熱心な質疑応答が続きしました。

温泉宿ならではの心づくしの料理を囲んだ夕食では、お互いが近況や学会への思いを語り合い、その後も夜が更けるまで、ともに時を過ごして親睦を深めることができました。参加者数は 20 名強とコンパクトではありましたが、若い世代の会員の参加も少しずつ増えており、世代をこえた交流も深まって、人間学会の「良さ」を改めて実感することができたように思います。学会の開催に当たっては、天使大学の堀井先生、登別万世閣の皆様大変お世話になりました（特別フロアを使わせていただき、一同大感激でした！）。

なお当初企画予定だったオプショナルツアーは、準備が整わず、実現することができませんでした。不手際をお詫び申し上げます。14 年度は上智での開催となりますが、今後も折をみて「合宿」形式の大会を企画してまいりたいと考えております。  
(記：崎川)

### 4. ホームページについてのお知らせ

昨年より開設したホームページですが、諸事情でなかなか更新できておりません。少しずつ環境を整えて、データベース的な意味でも充実させてまいりたいと考えております。ご意見やご要望がありましたら、ご遠慮なく事務局の方までお伝え下さい。

上智人間学会ホームページアドレス

<http://ningen-gakkai.org>

## 5. 役員会・事務局からのお知らせ

★2014年度の大会は上智大学で開催予定です。昨年は会員の皆様のご意見を参考に、8月最終週の開催となりました。先生方の校務や他の学会との兼ね合いを考えますと、現在のところこの時期が適切かと存じます。昨年は平日でしたが、今年は例年通り金、土曜の日程になりました。

★昨年の総会では、①会員入会時の推薦者を二名から一名に変更する議案が承認されました。また、『紀要』の投稿に関して、②大会での発表を活発化させることを目的として、大会で発表した内容の論文の掲載を優先させていただきます。との提案がありましたので、今回の募集においてはそのような条件を記載いたしました。紀要の原稿応募については、査読の厳格化や募集時期の変更などの案も検討中であり、いずれ総会においてご審議いただくことになるかと思っております。この件につきましても、ご意見がありましたらよろしくご意見申し上げます。

★役員会では少しずつ、学会の在り方や規約の内容などについての見直しを進めています。大会の総会時にご意見を伺っておりますが、大会に参加できない会員の方のご意見もぜひ参考にしたいと考えておりますので、ぜひお寄せ下さい。

★ニュースレターに掲載する「書評」や「著書紹介」、またエッセイや近況報告、お知らせなどの原稿も随時募集しております。ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

### 上智人間学会 役員会／事務局

会 長 瀬本正之  
幹 事 高山貞美 崎川 修  
会 計 武田なほみ 丹木博一  
紀要編集 中村友太郎 崎川 修  
会計監査 長島世津子 堀井泰明

事務局 (担当：田代奈津子)  
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1  
上智大学神学部(キリスト教人間学)事務室内  
TEL 03-3238-3529 FAX 03-3238-3945  
E-mail:theolo-2@sophia.ac.jp